

〔別紙様式2〕の記入要領

〔表面について〕

- (1) 「申請者名」欄には、会社名又は個人名を記載するものとし、個人の場合は本人、法人の場合は代表権者(代表権を委任されたものを含む。)に限ることとする。
- (2) 「魚種名」欄には、当該原料の種名を「ベニザケ、シロザケ、カラフトマス」等、標準和名又は一般的名称にて記載すること。
- (3) 「漁獲時期」欄には、当該原料の魚種別、形態別に漁獲が行われた時期を記載すること。
- (4) 「漁獲水域」欄には、当該原料の魚種別、形態別に漁獲の行われた水域を記載すること。
- (5) 「漁獲方法」欄には、当該原料の魚種別、形態別に漁法(例えば、定置網、はえなわ等)を記載すること。
- (6) 「原産地」欄には、当該原料の原産地を国・地域名(領有地等の領有地名等)により記載すること。
- (7) 「インボイス番号」欄には、当該原料の輸出時のインボイスの番号を記載すること。
- (8) 「(有償・無償の別)」欄には、当該原料につき、原料を輸出した際の有償又は無償の別を記載すること。
- (9) 「B/L番号」欄には、当該原料の輸出時の船荷証券の番号を記載すること。
- (10) 「カートン数」及び「キロ数」欄には、当該原料の輸出数量をそれぞれ記載すること。

〔裏面について〕

- (1) 「申請年月日」欄には、別紙様式1に記載した申請年月日を記載すること。
 - (2) 「原料使用量」欄には、別紙様式1において申請した貨物に使用した原料の数量(加工せずに原料をそのまま輸入する場合は、当該輸入数量)を記載すること。
 - (3) 「原料在庫量」欄には、別紙様式1において申請した貨物を加工した後の原料の在庫量(加工せずに原料をそのまま輸入する場合は、輸入後の原料在庫量)を記載すること。
- (注) 1 当該原料を他の業者へ販売する等、申請者が日本へ輸入する以外の目的で使用した場合には、「原料使用量」欄には使用した当該原料の数量を、「原料在庫量」欄には、使用後の原料の在庫量をそれぞれ括弧書で記載し、「備考」欄にはその用途等を記載すること。
- 2 初回の申請時からの使用履歴を記載すること。
 - 3 欄に記載しきれないときは、同じ様式を別紙として添付すること。